

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(舞阪中)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 学校運営の重点に沿って授業や行事を参観し、そこから見える良い点や課題について熟議していきたい。
- 来年度も引き続き学校・保護者・地域が連携・協働できるよう、熟議を進めたい。特に、もっと多くの地域住民に関わってもらえるよう方策を考えたい。
- 生徒と地域との接点を増やし、自分や舞阪への誇りにつなげていけるよう、熟議していきたい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

校長先生から具体的に説明のあった基本方針について、それぞれの委員が多方面から積極的に意見を述べ、課題などについても話し合った。特に、目指す子供像である「舞阪が好きな子」を育てていくことの重要性やその方法について熟議することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

地域の人材を生かした教育活動の充実について、各委員が持っている情報をもとに熟議を行った。特に学校経営重点項目の「自分や舞阪への誇り」「確かな学力」を持たせるために、学校支援コーディネーターが橋渡しとなって、職場体験や家庭科ボランティア、立志の書の指導ボランティアなど、具体的な支援活動として形にすることができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

学校のホームページからの発信はできていたが、地域への情報発信としては弱いと感じ、課題が残る。せっかく熱心に熟議が行われても、それが発信されなければ、「机上の空論」とは言わないまでも、影響力を持ちえない。舞阪は地域のつながりが深いので、情報発信の機会を増やせば、協力体制を築くことができると考えるので、情報発信の方法について、いっそう対策を考えていく必要がある。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 令和6年度の学校運営の基本方針をふまえ、また、授業参観等で子供たちの実態もふまえながら、よりよい支援活動を行っていけるように熟議していきたい。
- 地域とのかかわりをいっそう深め、子供たちの自立力や生きる力、命を大切にする心などを育てていく支援活動を行っていく。（職場体験、学習ボランティア、地域の祭典地域防災など）